

お風呂場のクリーニング 基本3工程

■カビの除去

カビ取り剤：泡になるタイプ

漂白剤：泡にならないタイプ

次亜塩素酸ソーダ含有

*きついカビや目地にはラップやキッチンペーパーをかぶせて湿布

*ジェル状のカビ取り剤などをする

*水などでしっかり流す

■体の皮脂分・酸性石鹼カスの除去

*酸性石鹼カス：体の皮脂汚れと石鹼が結合してできた汚れ

アルカリ性の洗剤を使用する。バスクリナーなど。基本的に腰から下の部分に多く付着しています。(アルカリ性の多目的洗剤でも可)

この工程をやらないと次の酸性洗剤の効果が発揮されません。

■金属石鹼カス・水垢の除去

*金属石鹼カス：水に含まれるカルシウムとマグネシウムが石鹼と結合してできた汚れ

酸性の洗剤を使用する。地域や水質によって何酸を使用すると1番効果があるなど異なります。

バスクリナーに含まれる一般的な酸の種類

無機酸：リン酸・硝酸・酸性フッ化アンモニウム 4%以下

有機酸：クエン酸・スルファミン酸

■塊になっている白い汚れ■

白く固まっている汚れは削れるだけ削ってから増粘性のある酸性洗剤で漬け置きをし、柔らかくなったところを傷が付かない道具やパッドを使用して落とします。

■壁面などに薄くモヤモヤとなっている汚れ■

増粘している洗剤：薄く延ばして液剤を浸透させてから擦り洗い

液体状のサラッとした洗剤：スプレーで塗布し擦りながら洗う

塗って流すだけの洗剤：使用方法をよく読み、時間や適正素材などを確認してから作業する

■鏡のウロコ

鏡のウロコ除去編にて解説

■まとめ

汚れは見た目では判断できません。何の汚れかを判別するために、効果のある液性(アルカリ性・酸性・塩素系)のいずれか、これかなと思う洗剤を使用して汚れに反応させてみましょう。反応すれば汚れは力をさほど入れることなく落とすことができます。

洗剤はあくまで表面に付着した汚れを落とす為のものです。素材の中に入り込んだシミや経年劣化などの変色などは落とせません。